

教育目標  
「自己を見つめ  
他を思いやる心



# たしかめ坂

土岐市立肥田中学校  
令和7年度 第7号  
令和7年10月30日

## 第4期「仲間と磨き合う」

# “日常”が“本物”になりつつある

校長 土本 高夫

本校を来校される方々からは、いつもたくさんのお褒めの言葉をいただきます。これも子どもたちの努力はもちろん、家庭や地域の協力や支えのおかげであると感謝しております。

前号では第2学年「若狭海の体験学習」を紹介しました。前期終了直前には第3学年「修学旅行」、後期になって第1学年「馬籠研修」がありました。どの学年も、ねらいや学年・学級の課題を明らかにして、研修前日まで日常生活の質を高めてきました。すべての学年研修に同行しましたが、どの学年も身に付けた力を、時と場所が変わっても発揮することができていて、まさに“本物（いつでも、どこでも、どんな時でも）”の姿でした。

第4期は「仲間と磨き合う」です。成長した仲間（一人一人）であってこそ、磨き合うことができます。今、子どもたちは研修の振り返りを通して、“できたことは続ける”“できなかったことは努力し続ける”日常生活を過ごしています。

子どもたちのさらなる成長のために、今後ともご理解ご協力をお願いいたします。

## 11/4(火)「土岐市あいさつデー」「全学年実力テスト」

「土岐市あいさつデー」は市内全中学校区で、主として登校時にあいさつを交わします。願うことなら、この日は家庭でもあたたかい言葉をかけ合えるといいです。感謝の言葉、励ましの言葉、感動の言葉などたくさんあります。きっと子どもたちのあたたかい心を育みます。

同日「全学年実力テスト」があります。わが子の取組ですが、落ち着いた学習環境づくり、あたたかい声かけや体調管理など、ご家庭においてできるだけサポートをお願いします。きっとその心や姿が、ご家族の絆を深め、子どもたちの感謝の心を育みます。

### 令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果について

小学校6年生、中学校3年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が実施されました。その結果と、質問紙（生活の実態や意識の実態の調査）の結果は、下のようになりました。

教科	本校正答率	県平均 正答率	全国平均 正答率
国語	県全国とはほぼ同じ	54%	54.3%
数学	県全国とはほぼ同じ	50%	48.3%
理科	県全国とはほぼ同じ	3.2/6	2.9/6

※学校の正答率は非公開になっています。  
※理科については6問中の平均正答数です。  
→国語、数学ともに、自分の考えをまとめ、分かりやすく書き表したり、根拠を明確にして説明したりする問題の正答率が低い。  
→理科については、自己の課題や学習の過程を振り返る記述問題に対するの正答率が高い。

#### 〈今後の取り組み〉

- ・安心して学習・生活できる学級・学校づくりを継続していきます。
- ・仲間と学ぶよさを実感している生徒の長を生かし、授業での対話的な活動に積極的に取り組みます。また、自分の学びをまとめて、書いたり話したりする活動を通して、自分の考えを分かりやすく説明できる力を伸ばします。
- ・日常生活の中でも、言葉を正しく遣って、書いたり話したりする場を増やします。
- ・家庭学習の内容や方法を再確認していきます。ご家庭でも声掛けや見届け、励ましをお願いします。

#### 質問紙調査において全国平均より上回った内容

- 毎日朝食をとる。
- 自分によいところがある。先生は、あなたのよいところを認めてくれている。
- 人が困っているときは、進んで助けている。
- いじめは、どんな理由があってもいけない。
- 学校に行くのは楽しい。友達関係に満足している。
- 普段の生活の中で幸せな気持ちになる。
- 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気づいたりすることができた。
- 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。
- 平日は2時間程度学習をする生徒の割合が高い。土日は2時間以上学習する生徒の割合が増える。
- 国語、数学、理科とも、学習したことがよくわかり、将来社会に出たときに役立つと考えている生徒の割合は高い。

#### 質問紙調査から見える課題

- △将来の夢や目標を持っている生徒は6割ほど。
- △新聞を読んでいる生徒が少ない。全く読まない生徒も多い。
- △読書は好きだが、読書を全くしない生徒が半数いる。
- △ICT 機器を使って情報を整理することが苦手と感じている生徒が多い。
- △学習が分かると答えた生徒の割合の高さと比べると、学力調査の平均正答率、平均正答数はやや低い。